



出雲更生保護女性会だより



令和4年度 受賞おめでとうございます

(敬称略)

- ・中国地方更生保護女性連盟会長表彰 嘉藤 馥美
- ・松江保護観察所長感謝状

高橋 洋子	天野 良枝
打田 千寿子	瀬島 純子
小村 孝子	角田 千恵子
小倉 郁子	吾郷 育美

感謝状を受賞して

この度、中国地方更生保護女性会連盟会長表彰を受賞いたしました。誠にありがとうございます。

平成23年更生保護女性会入会を勧められ、何もわからぬまま入会。その後、地区の理事になり、令和2年度からは、会長を務めさせていただいております。

優しさと熱意に満ちた皆様とのご縁、地域

の皆様からの励ましの言葉などありがたいご縁に触れることができました。

更生保護の活動を通してたくさんの方々に出会えたこと、視野を広め寛容と慈悲の心の大切なことを学ぶことができ、感謝しています。

これからも、皆様とともに力を合わせ、楽しく活動してまいります。

神門 嘉藤馥美

この度は、松江保護観察所長感謝状をいただき、有難うございました。

高松地区からは、3名がいただきました。

コロナ禍前には「しらふじ」「島根あさひ社会復帰センター」「松江裁判所」など更生保護女性会だからこその研修で、見学に行かせて頂きました。

会員になってからも出席できない事がありましたが、令和4年度から地区の理事をさせていただくことになり、60周年記念式典にも微力ながら参加できたことを喜んでおります。地区の会員様、理事会の皆様との出会いでさらに更生保護女性会でのお手伝いできればと思っています。

高松 瀬島純子

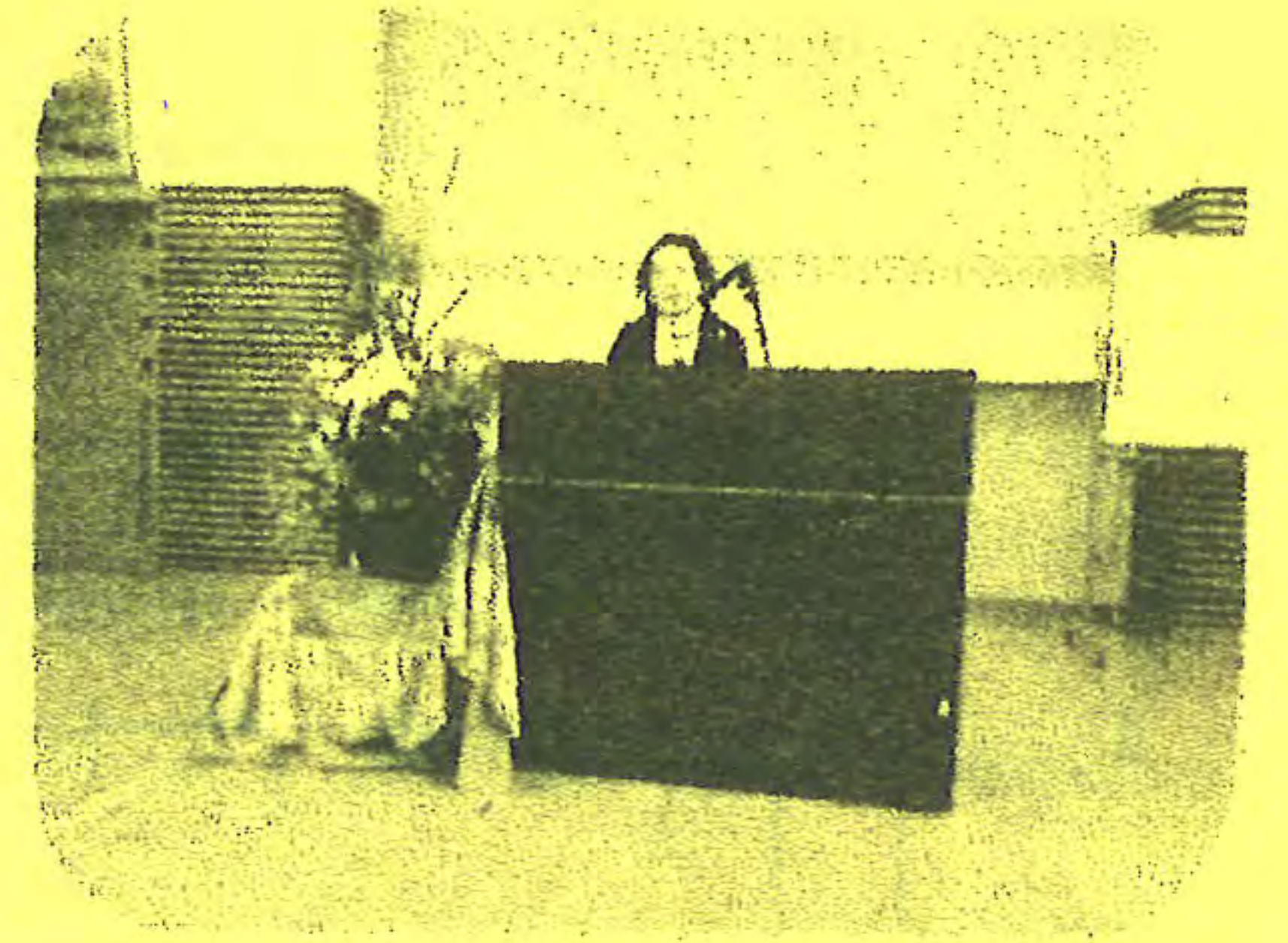
令和4年度 研修会に参加して

11月10日、高浜コミュニティセンターにおいて出雲更生保護女性会の研修会を開催し、34名の会員が参加しました。

講師として、これまで地域で数多くのボランティア活動をして来られた松浦絹子さんをお迎えし「私の歩んだ道・花と子供たち」という演題で講演していただきました。また、来賓として柳楽桂子さんにお出掛けいただきました。

講師の松浦さんとは、障害者施設の花壇作りやイベントのお手伝いをした際に出会い、当時からバイタリティ溢れる行動力に凄い人だなあと感じていました。今回の研修会で、ボランティア活動を始められたきっかけや子どもたちとの交流や活動等、これまでの体験の一端を熱心に語っていただきました。たくさんの事例を交えての話はあっという間に時間が経ち、改めて松浦さんの凄さを感じました。ボランティアの本質である無償の愛を、子ども達や地域、社会に惜しみなく注ぐ姿勢はなかなか真似できるものではありません。今回の研修会で感じたことを心にとめ、私も何かしら社会に貢献できる活動をしていきたいと思います。

長浜 青木久美子



「松浦さんの爪の垢でもちょっこし煎じて飲まなければ、申し訳ない気がする」というのが、先日の講演会の正直な感想です。

「ボランティア」とひとくちに言っても、様々いろいろな内容がありますが、お話を伺っております限り、気軽に片手間では成し得ることができない事に携わって活動されたその熱量に感服するほかありませんでした。「我が子のように…」の思いで活動することは、生半可な思いではできないのではないと感じました。昨今のプライバシー尊重、守秘義務、コンプライアンス etc. 気にしたら、一歩も前に進めないくらいの世の中に感じますが、身の丈に合った活動をしたかったです。

朝山 雲藤 芳子

11月10日、高浜コミセンに於いて松浦絹子さんの講演がありました。

障害のある娘を生後53日で亡くし、「この子の分まで生きよう」と決意したのがボランティア活動のきっかけとなったとのこと！ 以下お話の主な要旨を紹介します。

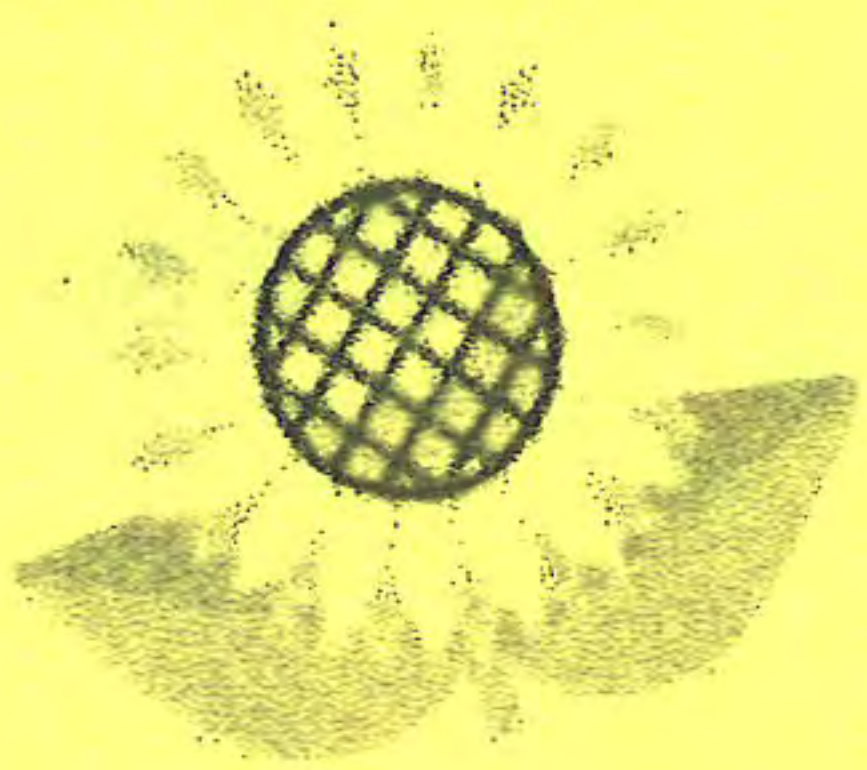
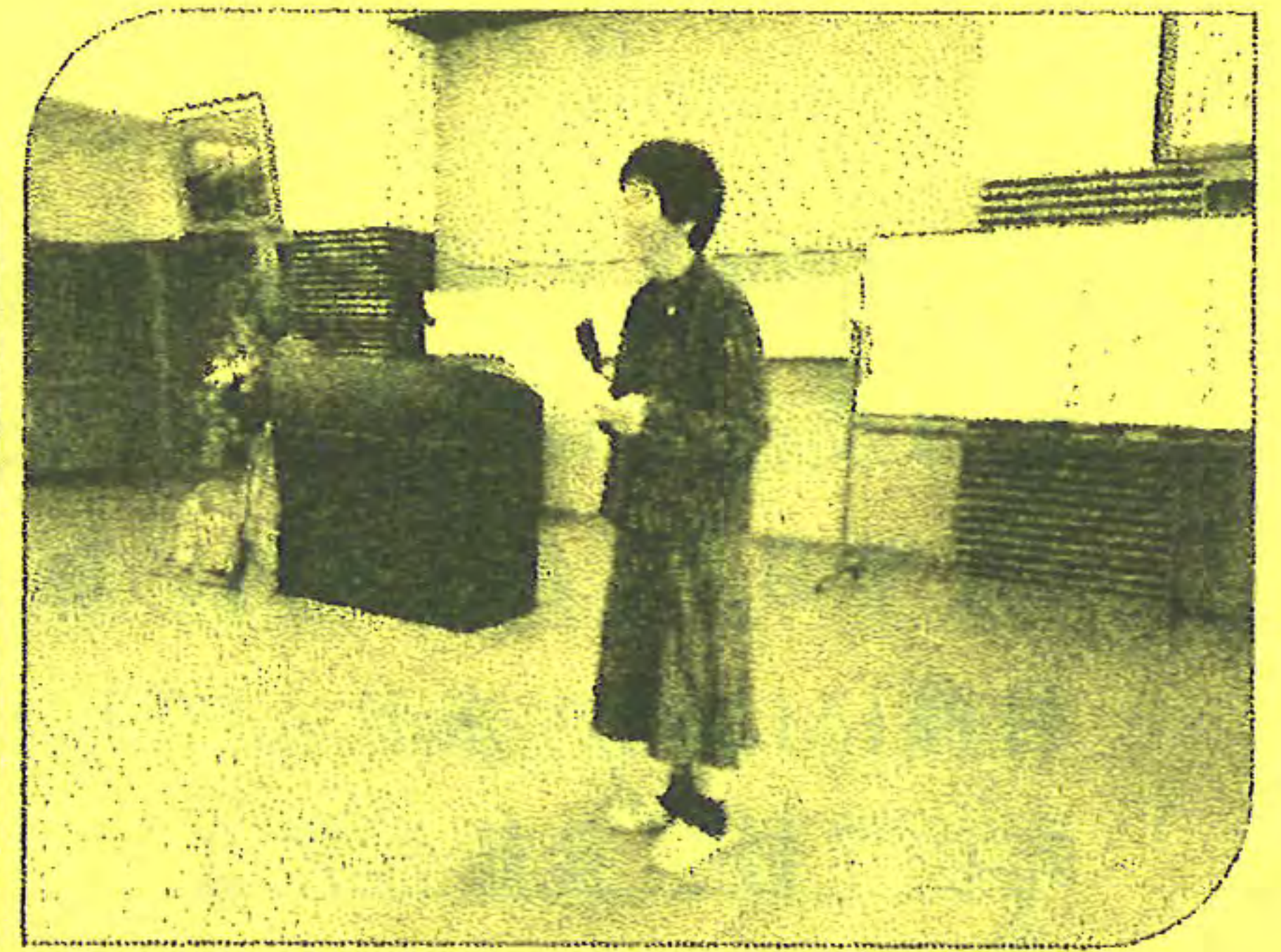
ハンディを持つ子供の為の療育用おもちゃ図書館を16年間お世話しました。

やがて、小学校のPTA役員を皮切りに民生主任児童委員等、多くの役職を引き受け、人の役にたつことで自分自身も充実した日々を過ごしました。

移り住んだ中学校区は、当時荒れた学校でしたが、「スクラム組んで子供たちを育てよう」と地域・自治会を巻き込み、親・学校共に子どもの居場所作りに尽力し、生徒自身にボランティア活動の喜びを育てることができました。

松浦さんのお話は、ボランティア実践の真髄であり、深い感動と元気を頂きました。

今市 園山 久美子



松浦絹子さんによる、『私の歩んだ道・・・花と子供たちと』と題しての講演会がありました。

松浦さんは、おもちゃ図書館代表、民生委員、三中PTA会長などを経て、現在は少年補導員として活躍しておられます。

思春期の子供たちと、花の苗植えや福祉施設での交流活動、募金活動などをしていると、会話の中から子どもたちの生活環境や、抱えている問題が見えてくるのだそうです。その気持ちに寄り添い、「えらいね」

「ありがとう」と声を掛けながらの活動を続けて20年余り。子ども達は必要とされる喜びや人の痛みにも気付ける程に成長していき、大人になった彼らに街中で声を掛けられると幸せを感じる松浦さん。

ヤングケアラー、虐待、不登校、非行と、子どもを取り巻く闇が多い中、子ども達の心に灯をともし松浦さんの活動は、私たち更生保護女性会の目指す方向でもあります。参加した全員が次への活動への力をいただけた研修会でした。

川跡 鶴原 栄美子

令和4年度「愛の図書募金」について

今年度も皆様の募金活動によりコロナ禍前には及びませんが、前年度より12万円多い1,797,834円の募金が集まりました。目標には届きませんでしたでしたが旧出雲市内の中学校7校、養護学校1校、小学校13校、幼稚園16園、保育園35園に115万円の図書券を贈呈しました。お礼の便りが届いています。また、県連盟愛の図書に10万円、県連盟愛の募

金に5万円を贈呈しました。

12月2日に松江市で行われた県連盟の愛の図書贈呈式に嘉藤会長が参加されました。新たに児童養護施設 双樹学院、児童養護施設 安来学園、児童養護施設 聖煌寮が加わり、14施設に贈呈されました。皆様の温かい心が伝わることと思います。

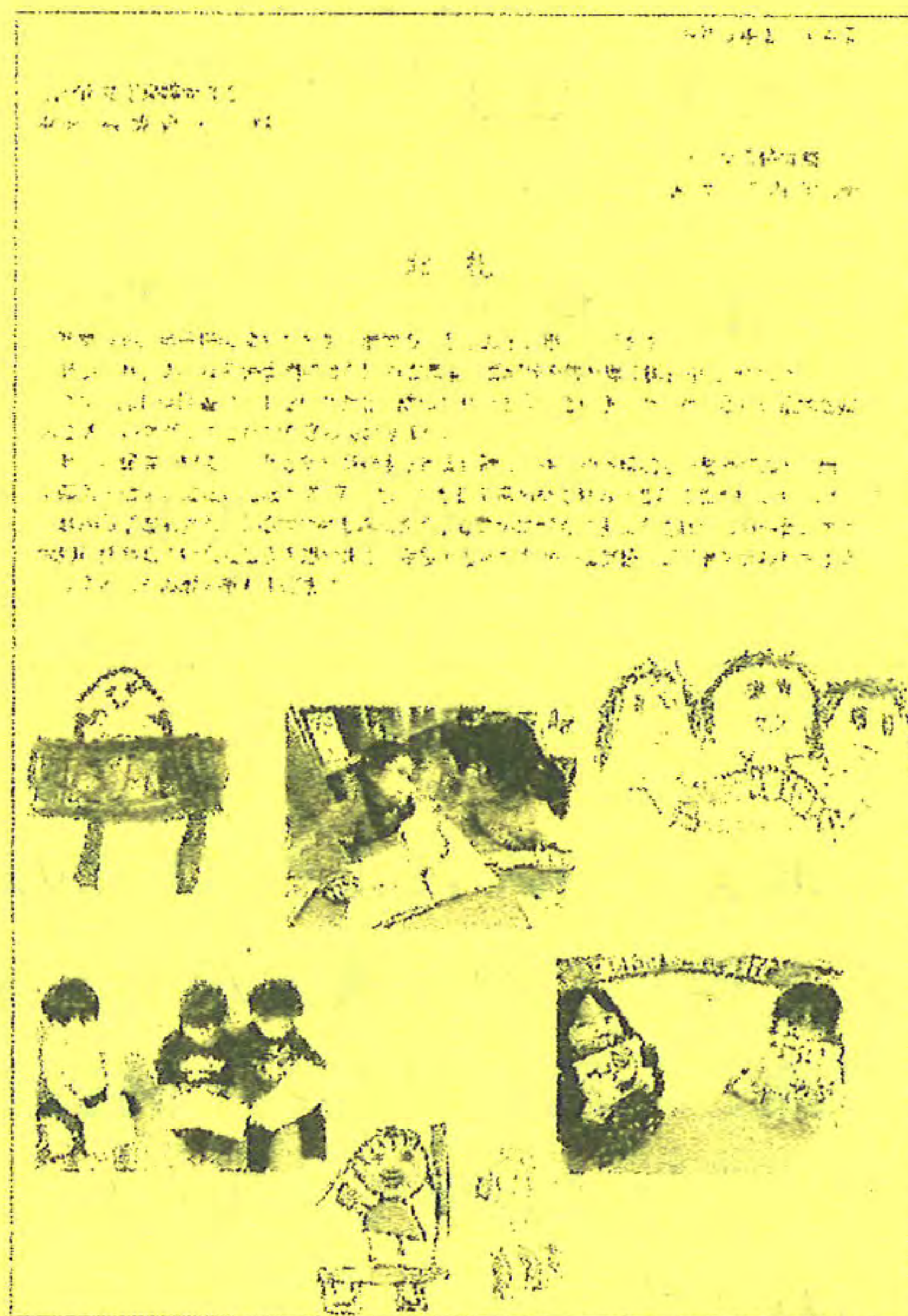
沢山のお礼状が届いています。一部をご紹介します

たのしいえほんを
よってくださり
ありがとうございました



いまいちごうえん

今市幼稚園



あすなろ保育園



朝山幼稚園

いずもこうせい
ほごじ*せいかりさま

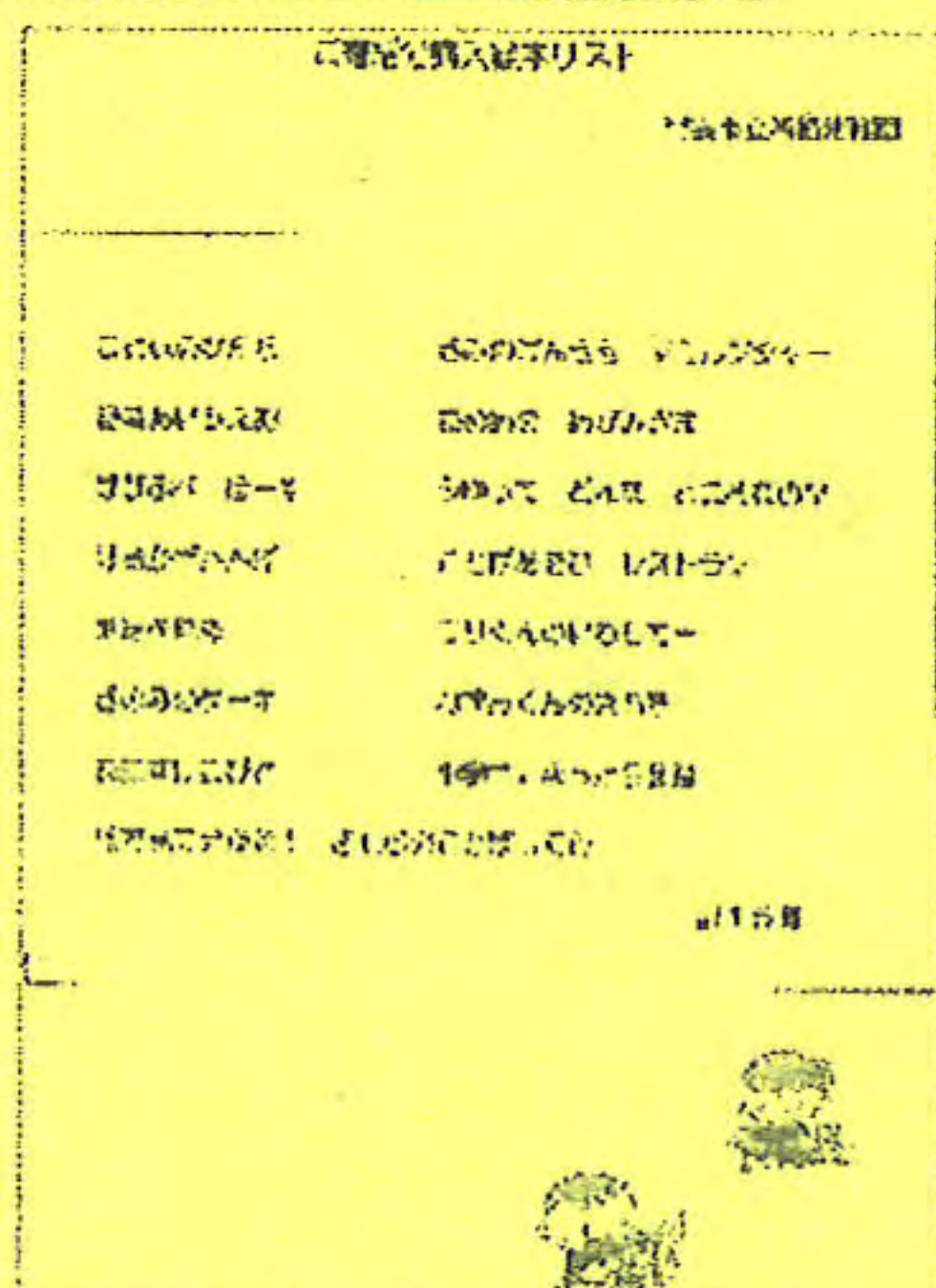
えほんをありがとうございます。
せりせつにようびります。

ほくようほいくえん
5さいりくろーぼーごみより

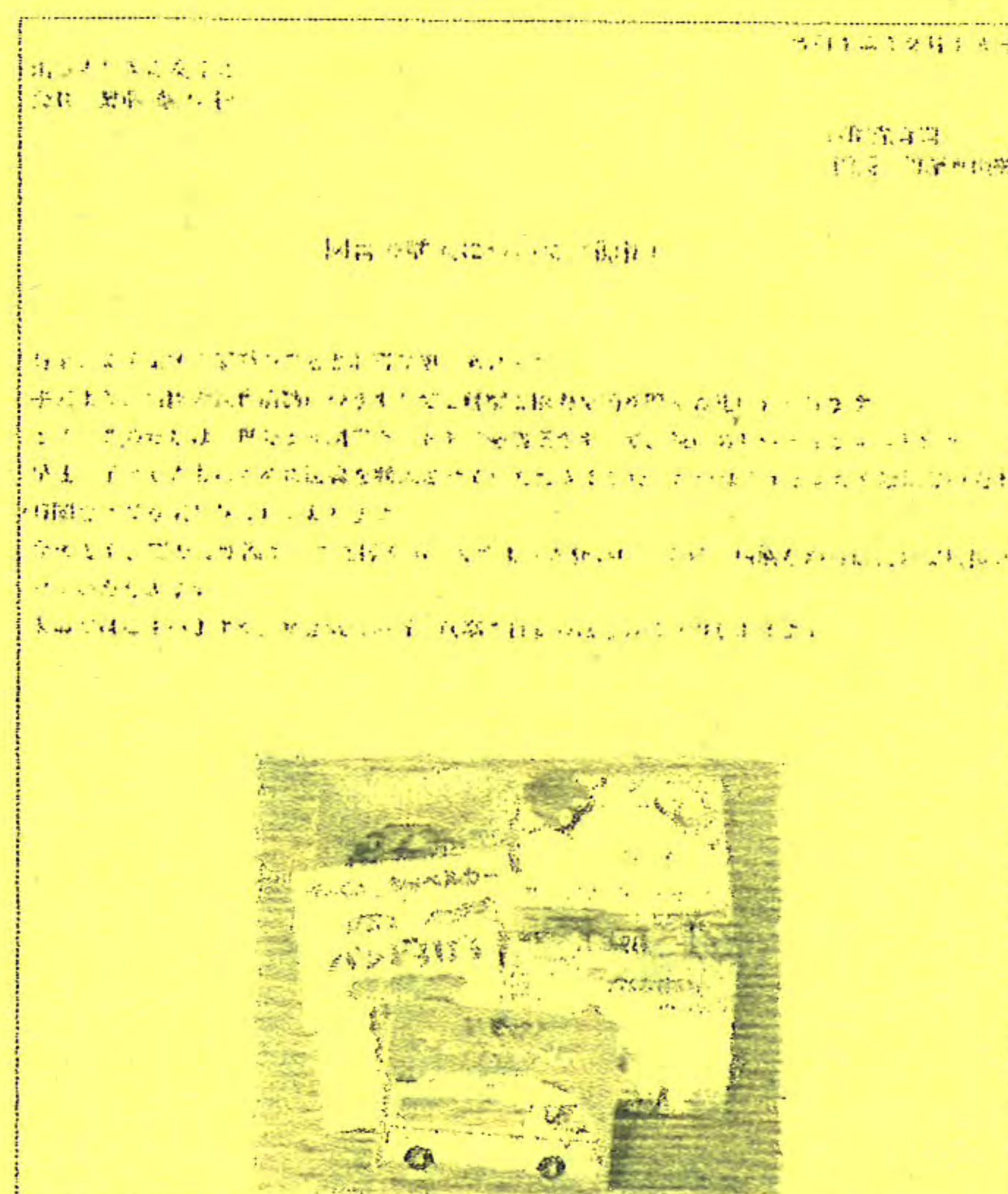
ほくよう保育園



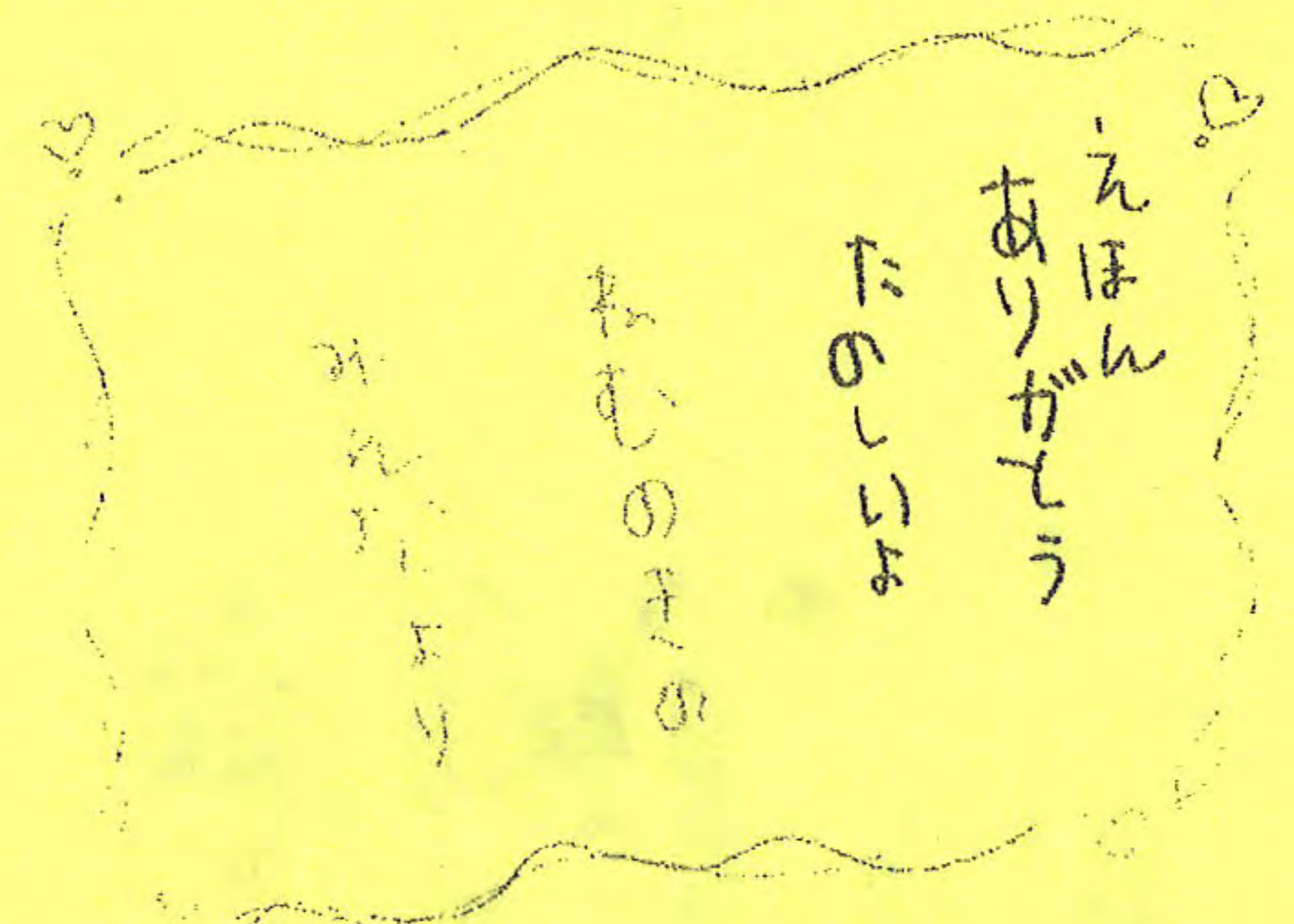
あすなろ第2保育園



四絡幼稚園



西園保育園



ねむの木保育園